

住民座談会は、よりよい暮らしを住民と一緒に考える「協議体」という見方

R5.10.31 講演会「ちょっと教えて!置戸のいいところ~これからも置戸で暮らしたい~」

R6.3.28 懇談会「第2回ちょっと教えて置戸のいいところ」

R6.10.11は生活支援体制整備強化月間

- ・講演会 介護者に関する講演会 介護者を地域で支えていく地域づくりの内容
- ・いきいきライフフェスティバル「食について」
- ・子ども服バザー等を開催。子育て世代が多く集まる予定。その際に、パネル展示を行い、「手伝ってもらって助かったこと、うれしかったこと」「置戸でこんなつながりや支えあいがあるといいなと思うこと」等をテーマに付箋で書いて張ってもらう。
- ・図書館での地域づくりに関する書籍の特集



R6.10.19 ちびっこクッキング 年中クラスの園児と男性高齢者が交流しながら実施。男性の料理教室での「こどもとごはんづくりをしたい、ご飯を作ってあげたい」という声から

R6.10.23 講演会「気にかけて合うことからはじまるまちづくり」
1970年代にたくさん本を読んだ世代が、今は高齢化して図書館から遠ざかっている。図書館は本を借りなくても来ていいところ。司書さんの言葉に、それをフレイル予防や活躍支援の視点で生かしていけないか…

R7.3.28 座談会「話して見つける置戸の『お宝』」



おしゃべりで発見 置戸の「お宝」

高齢者のフレイル予防活動の一環
60～90代 12人が参加

北海道新聞 2025.4.2掲載

置戸町で暮らし続けるために、地域のつながりや支え合い、介護予防などについて、高齢者に限らず多様な属性の人たちが一緒に学び、話し合う機会を年2回、定期開催している。

そのなかで、町民自身から、健康で心豊かに暮らすためのさまざまなアイデアや実践が聞こえてきた



仙台市に隣接
(100万人都市の
ベッドタウン)



宮城県
多賀城市

人口
62,578人

世帯数
28,394世帯

高齢化率
25.3%

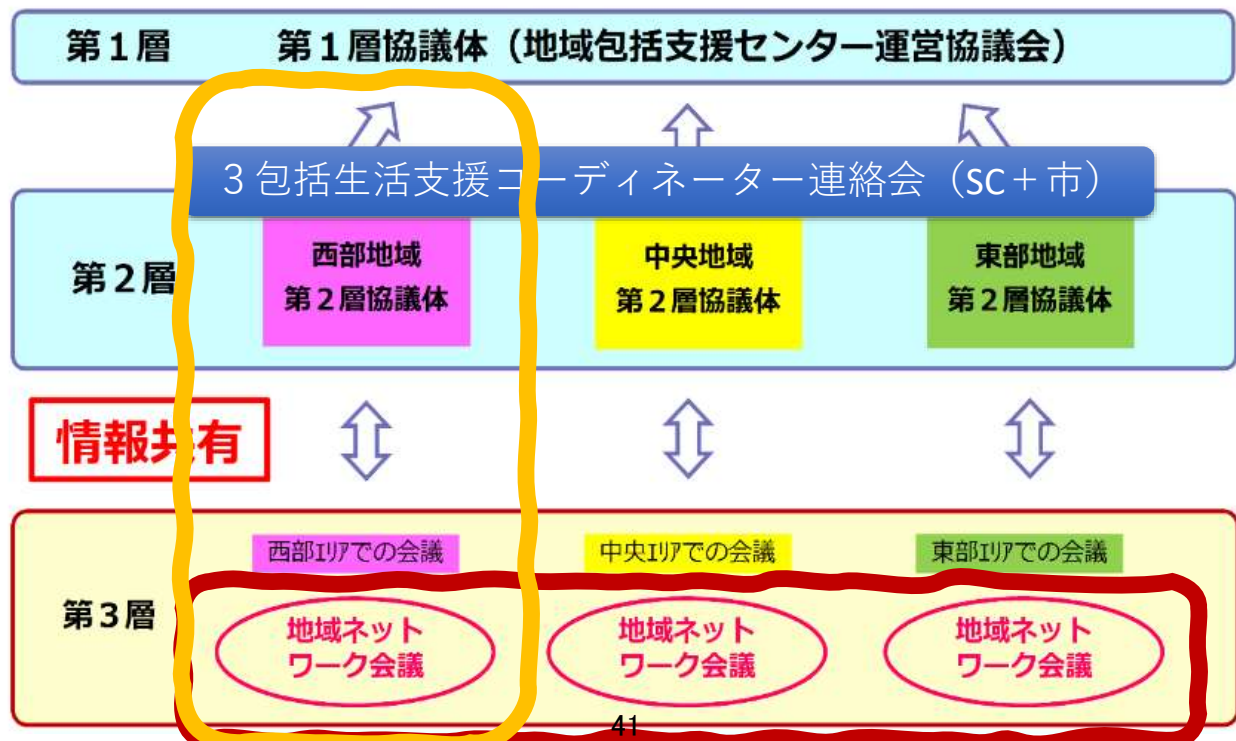
2022(令和4年)
6月1日現在
(多賀城市総務部
市民課記録係)

多賀城は、奈良・平安時代
に陸奥国(むつのくに)
の国府が置かれた古代
東北の政治・文化・軍事
の中心地

国の重要文化財
多賀城碑



多賀城市における協議体の設置状況



地域ネットワーク会議 2013(H25)年～

○担当地域を5つに分割し、年2回ずつ開催

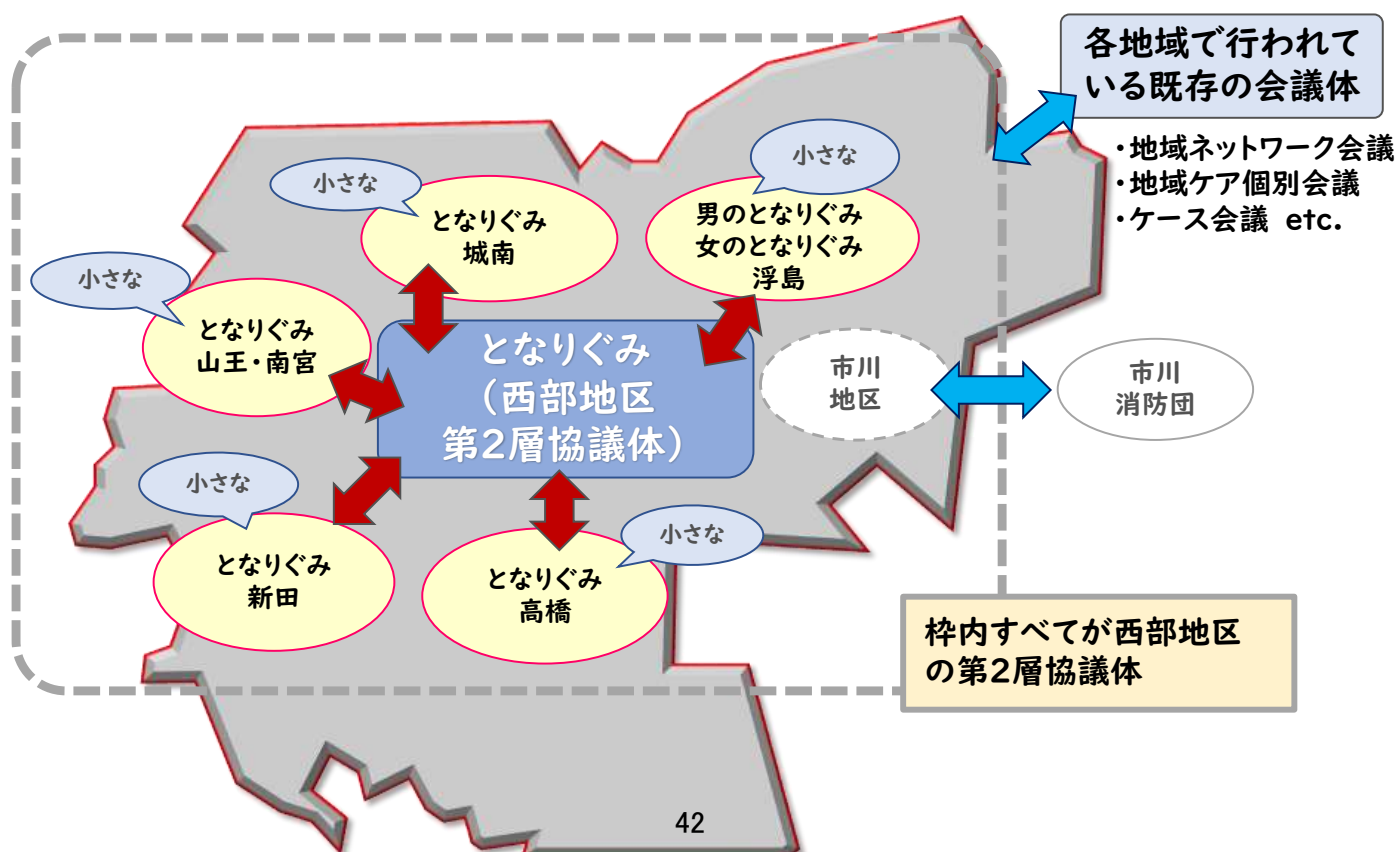


ちょっと気になる

(開催日時) 多くの方に参加いただくため、土日や夕方などに開催

(テーマ) 高齢者の情報交換、地域資源・地域づくりetc.

西部地域の第2層協議体の現在 2017(H29)年～



南宮地区のとなりぐみ

山王地区と合同で毎月開催

(コロナ感染拡大前に撮影)



(コロナ感染拡大前に撮影)



話し合いは2つのグループで

ワイワイ・ガヤガヤ

話し合いの後は、毎回**ミニ発表会**を実施

南宮地区・小さなとなりぐみ

つまり
地域課題

話し合いのテーマ「最近、気になっていること」(2019~)

南宮に引っ越してきた（若い世帯など）
人たちと交流がないね

課題の
解決策

交流の機会を企画しよう。歓迎会を開こう！

新型コロナウイルス感染症による集会や会食の自粛